

## ベトナム子供基金通信

NO. 10

1999/03/20

ベトナム子供基金

〒113-8642

東京都文京区本駒込2-12-3

アジア文化会館内

TEL:03-3946-4121 (代)

FAX:03-3946-7599

ベトナム青葉奨学会

QUY HOC BONG LA XANH

C/O TRUNG NHAT NGU DONG DU

43D/46 HO VAN HUE PHU NHUAN

HO CHI MINH VIETNAM

TEL:84-8-8477359 FAX:84-8-8477527

### <ベトナムからのメッセージ>

#### ハウエさんの挨拶

ベトナムはもうすぐ新年を迎えます。街もずいぶん賑わってきました。

ベトナム子供基金の皆様のご健康とご成功をお祈り申し上げます。

私共青葉奨学会は、皆様の温かいご支援のお陰で毎年毎年大きく発展して参りました。奨学生の人数が今年はずいに1000名を越えることとなったのも、遠い日本で応援して下さっている皆様方の子供たちへの温かいご支援、激励のお陰だと心より感謝申し上げます。

今年度は初めて子供達を一堂に集め、あらためて皆様のお心づかいをおのこの胸に刻む機会も持つことが出来、事務局にとっても、子供達にとってもすばらしいスタートとなりました。

これからも青葉奨学会は、奨学金支給先をベトナム各地、特に中部・北部にどんどん広げていく予定です。また、奨学金支給活動以外にも地域に根差した活動を目指し、現地の教育に携わる方々と協力して行くつもりです。今後も皆様のお力が必要です。ベトナムの'青葉たち'を育てるのは何年もの月日がかかりますが、ご支援いただいている皆様に、将来立派な何千本もの花をお見せできるように専心努力してまいりますので、今後も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後にもう一度、皆様の益々のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

1999年2月11日

青葉奨学会代表 グエン・ドク・ハウエ

## 1999年青葉奨学金贈呈式開催

1999年1月24日、ホーチミン市で市内在住の青葉奨学会の子供達を全て集めて奨学金贈呈式が行われました。553名の子供達（小学生～大学生まで）が一同に会するのは今回が初めての試みです。この授与式は奨学生達が友人、先輩、元青葉奨学生との交流を深め、お互いの経験や、今後のあり方を学び合う機会とするために企画され、ボランティアの先生と奨学生の手で運営されました。ホーチミン市人民委員会、ホーチミン市奨学会の代表、市内5校の代表、数名の日本人里親の出席を得て、和やかな中にも厳粛に行われました。

### 開幕の言葉（司会の高橋生）

国家の将来を担う子供達は、十分な保護と教育を受ける必要があります。

しかし発展途上国では、生活は依然苦しく子供達の学習条件に影響を及ぼしています。教科書、ノート等がそろわないまま通学している状況です。

このような状況に心を痛め青葉奨学会の創立者、事務局は素直で優秀な子供たちの困難を何とかして減らしたいと強く願っています。

青葉奨学会は青葉ファミリーである子供達が団結し、愛し合い、また共に磨き合い、今後ベトナムに貢献できる人間に育つことを常に望んでいます。

しかしながら、青葉奨学生がとても多くなり、事務管理や子供達との活動が大変むずかしくなってきたため、青葉奨学会は奨学生達をいくつかのグループに分けて奨学金を支給してきました。ですからこの大きな家族のメンバーである子供達はお互いに親しい関係を育てることが出来ず、先輩方の話を聞く機会もなかったのです。

### 1999年度第一回青葉奨学金贈呈式 式次第

1999年1月24日

於 QUAN UY QUAN 3

#### 1. 開幕

\* 開会の言葉

\* ご来賓の皆様のご紹介

#### 2. 内容

\* 青葉奨学会代表あいさつ

グエン・ドク・ホウエ

\* 1998年度活動報告

\* 里親代表よりお言葉

\* 里親の方への花束贈呈

\* 奨学生代表に奨学金贈呈

\* 現青葉奨学生あいさつ

\* 元青葉奨学生あいさつ

#### 3. 閉幕

#### 4. 奨学生交流と奨学金支給

\* 現奨学生と元奨学生との交流

\* 奨学金支給



一同に会する  
ホーチミン市  
在住の子供達  
(前列は来賓  
の方々)

今年度、青葉奨学会はホーチミン市在住の奨学生のために奨学金贈呈式を開催しようと決定しました。これは奨学生達が友人、先輩、元青葉奨学生との交流を深め学習面の経験や今後のあり方を学び合うために企画されたのです。と同時に教育関係の皆様や皇親の皆様が匾接子供達に会う機会でもあります。たくさんのお客の方々、ベトナムの子供達の将来に関心を持ってくださり、子供達のための出資をもちとわれないと言う温かいお心を持ってくださっています。今日は、そういった方々のお気持ちをお子達同様、皆様にもご理解いただく機会でもあるのです。

### 553名の生徒達が青葉奨学金 を受け取る

1999年1月24日、ホーチミン市3区会堂にて、第一期青葉奨学金贈呈式が行われた。一人分の奨学金額は毎月、小学生：55,000ドン、中学生：83,000ドン、高校生以上：110,000ドン。各生徒が受給出来る基準は、”素直、優秀、社会に貢献出来る”である。以上の条件を満たしていれば、大学までの受給も可能である。現在日本では4つの協力団体が青葉奨学会の窓口になっている。ベトナムではドンズー日本語学校の校長であり、会の代表でもあるグエン・ドク・ホウエ氏を通しての。

注：1\$13,800ドン

1999年1月25日、労働新聞

#### 553 học sinh nhận học bổng Lá xanh

(NLD) - Sáng 24-1-99, tại hội trường Quân ủy quận 3 - TPHCM, diễn ra lễ trao học bổng Lá xanh (HBLX) Kỳ 1 năm 1999 cho 553 học sinh ở TPHCM. Mỗi suất học bổng của học sinh cấp I trị giá 55.000 đồng/tháng, cấp II: 83.000 đồng/tháng, cấp III: 110.000 đồng/tháng. Các học sinh được học bổng phải đạt tiêu chuẩn "con ngoan, trò giỏi, vì xã hội". Nếu vẫn giữ vững danh hiệu trên, các học sinh có thể tiếp tục nhận học bổng lên đến đại học. Hiện nay, quỹ HBLX đã có 4 đại diện tại Nhật: ở Việt Nam quý thông qua trường Nhật ngữ Đông Du (TPHCM) do thầy Nguyễn Đức Hòa, hiệu trưởng trường, làm đại diện. H.G

## 奨学生の言葉 (K0-192 Van Bich Thuy 6年生、女子)

代表の皆様方、里親の皆様方、青葉奨学会のご指導をされている方々、私は Van Bich Thuyと申します。ホーチミン市ピンタン区のHa Huy Tap中学の1年生です。今日は、私は奨学金を受けている、貧しくても向上心のある生徒を代表して、私たちが青葉奨学金を受けることが出来たときの限りない感動の気持ちと深い感謝の気持ちを表明したいと思います。

皆様方、私たちはそれぞれ苦しい家庭環境に生まれましたが、みな意思を同じくして、より良い将来を渴望しています。この願いがあるからこそ、私たちはとどまることなく、勉強に熱中し、頑張ってくることができたのです。

里親の方々が私たちの苦しみを共に分かち合うほど、お心をかけてくださり、私たちが心に抱いていた夢の実現のためにチャンスをごくださった慈愛のお心に、私たちは感謝してもしきれないほど大きな恩を感じています。

青葉奨学会は、両親や先生方、里親の方々の私たちへのいつくしみのお気持ちや、また私たちに對する希望のお気持ちに、どうお応えするべきかをいつも思い起こしてくれる、私たちにとっては精神的にも物質的にも励ましを与えてくれる無限のパワーの源のような存在でもあります。

この皆様の真心にお応えするために、私たちは踏みとどまることなく力を尽くして勉強に励むことを約束させていただきます。

また、勉強に励む決心と共に、科学と世の中の動きの変化・発展に遅れないように社会に貢献し、次の世代のために役立てるようになるまで、自分の知識を広げていきたいと思ひます。

私たちは里親の方々、そしてまた青葉奨学会のご指導にあたる方々が私たちを支援して下さったことに本当に心から感謝しています。

また、新しい年を迎えるに当たり、皆様方のご健康と平穩と益々のご繁栄をお祈り申し上げます。



奨学生代表に  
奨学金を贈呈

## ” Cay Mua Xuan” 春の樹 —お正月に一着の洋服おくる活動—

”春の樹”は、ホーチミン市とその近郊の貧しい家庭の子供や、親のない子供達、ストリートチルドレン等に普通の子供達と同じように、お正月を迎える喜びを味わって欲しいという思いで、8年前にドンズー日本語学校の先生方、有志の学生の活動として始まり、毎年ベトナムのお正月（テト）に続けられています。当初は恵まれない子供達に手作りのパイン・チュン（ベトナムの代表的なお節料理）を贈りました。徐々に活動は大きくなりお正月を迎えるための新しい洋服を贈るようになりました。その活動の中心は青葉奨学会に移り、ドンズー日本語学校内にとどまらず広く支援の輪を広げてきました。そして、一昨年初めて在ベトナムの日本の企業の方々にも呼びかけ、大きな活動になりました。今年も一人でも多くの恵まれない子供達に真新しい洋服を着て、新年を晴れやかな気持ちで迎えて欲しいという願いを込めて、この活動を行いました。

ドンズー日本語学校内で募金活動を行う一方、日本総領事館、日本商工会、アオザイ会（在ベトナム婦人会）の協賛をいただき、ホーチミン市内、及び近郊の日本企業から寄付を募りました。

配られるのは、普段着にも着る事が出来る、紺のズボンと白いシャツのセットです。女の子のシャツは刺繍入りです。男女サイズ別に発注します。1セットは27,000ドン（約270円）です。トラックで洋服が青葉奨学会事務局に届くと、1セットにし、

それぞれビニール袋に詰めます。そして今年もパイン・チュンを作りました。この作業は全て青葉奨学会スタッフと有志の学生で行われました。

今年のテトは2月16日です。配布は2月4日に開始されました。「1人1人顔を見て直接手渡します」というのがこの活動のモットーです。

事務局スタッフ、在越日本人有志、そして青葉奨学会の大学生達は大量の洋服を積み、バイクでホーチミン市内の各施設を回ったり、車をチャーターして郊外の貧しい学校を訪問しました。

親のない子供達の世話をしているお寺、身体が不自由な子供達のための施設、ボランティア教室など、今年は23の施設、合計1,500人の子供達に洋服を配ることが出来ました。数にすると昨年を下回りましたが、ご寄付くださいました方のお気持ちを確実に子供達に伝えることが出来たとおもいます。

（在ホーチミン市 脇平記）



LONG HOA 寺で  
（両親のない男の子のための施設）



### <里子のダンちゃんに会って>

今井 幸恵

年末年始にベトナムを訪問した際、事務局長の脇平さんにアレンジしていただき里子の家を訪ねました。里子のダンちゃんは現在中学3年になる女の子です。三姉妹の長女で、ホーチミン市内に住んでいます。ダンちゃんに会うのは3度目で、1年半ぶりの再会となります。初めて会ったのは9月から中学1年になるという夏でした。

ダンちゃんはとても恥ずかしがりやで、過去2回は、大半はお祖母さんとお母さんと話をし、ダンちゃんに何か聞いても、お母さん経由で答えて返ってくる、というものでした。

今回私が訪ねた時、たまたまお母さんが不在だったのと、お祖母さんも席をはずしてしまったため、しばらくダンちゃんと私と脇平さんの3人が主人公のストーリーを放映していたそうです。ダンちゃんも観ていたと言っていました。「ストーリーは

人で話すことになりました。ダンちゃんは私に仕事のことや（私はベトナム語を習っているのので）ベトナム語の勉強はどうか、とか日本のお正月はどんなですか、とかいろいろ聞いてきます。たぶん、私と会うので一生懸命話すことを考えたのだと思います。しかし、やはり会うのが3回目と言うことで以前よりリラックスした感じもあり、私としては「ああ、大人になったな」と思わずにはいられませんでした。脇平さんに通訳をお願いしましたが、ダンちゃんは中学に入ってから英語を習っているのので、少しの英語と、私のつたないベトナム語で、直接会話する事もできました。

ベトナムでは年末まで日本のテレビドラマ「ドク」（ベトナム人留学）会うたびに背が伸びて、大人っぽくなっていくダンちゃんを見るのは本当に楽しみです。

面白かったけど、ドクのような髪型をしているベトナム人はいない」と言うので、「それにドクは無口だったけど、ベトナム人はもつとおしゃべりだよね」と私が言うと、笑っていました。

そうこうしているうち、お母さんが戻ってきて、お祖母さんも加わりあれやこれやとさらに話は弾みます。お母さんは、今は学校が改装中でお休みしているけれど、少し前までドンズー日本語学校で日本語を勉強していたこと、若い人に交じって勉強するのは大変だけれど、勉強そのものは楽しいと話してくれました。現在学校で副担任のような仕事をして働いているそうで、家に大人の手がないのでダンちゃんはあまり出かけられず、家にいることが多いのだとか。日本だと中学3年くらいなら友達同士で遊びに行ったりするのにベトナムでは通りの交通量も多く危ないので子供だけで出かけたりしないそうです。「家にいる時は、この子は勉強ばかりしているのよ」とお祖母さんとお母さんは苦笑いしていました。

「勉強ばかりじゃなく、もっと遊びにいきなね」と言うと、「明日は学校でコンサートがあるので、楽しみにしているの」とダンちゃんは答えてくれました。

たぶん今度会うときは高校生になっていると思うので、制服の白いアオザイ姿が見られるかな、などと今から考えています。ダンちゃんやダンちゃんの家族がいるということで、ベトナムは私にとって特別な場所です。もしかしたらダンちゃんたちにも私がいることで、日本が他の国より身近な国であるかも知れません。こうして海の向こうに思いをはせる人たちがいるというのは、素晴らしいことだと思えます。

最後になりましたが、私の宿泊先から訪問先まで同行し、通訳をしてくださった脇平さんに感謝します。有り難うございました。



今井さんとダンちゃん  
(ダンちゃんの家で)

## <事務局より>

タオダンを紹介する NHK の「新アジア発見」放映のお知らせを致しましたが、放送日時が変更され、ご迷惑をおかけしました。事務局に貸出用ビデオテープがございますので、ご希望の方はご連絡ください。

### 翻訳ボランティア大募集！！

ベトナム語翻訳をお手伝い戴けませんか？

月水金曜日の午後2時～6時にお電話ください。

ベトナム子供基金事務局 岡村、近藤

TEL : 03-3946-4121 アジア文化会館受付で

呼び出してください。

## ベトナム子供基金会員募集

里親基金 年額一口 20,000円	特定の「里子」に奨学金を支給する「里親」になっていただきます。 ベトナム青葉奨学会から子供と履歴票が届き、子供と手紙のやり取りが出来ます。	会費納入は次のところをお願いします。 口座名義は いずれも 「ベトナム 子供基金」
一般基金 年額一口 12,000円	子供達全体の「里親」という関係を想定しています。 子供基金通信によって、会の運営、子供の様子等をお伝えします。	郵便振替 00140-1-70399 銀行振込 富士銀行 駒込支店 普通預金 1495745
賛助基金	一般基金に準じます 金額、回数等、一切自由です	

タオダン支援にご協力下さる方は下記にご送金ください。

口座名義はいずれも「ベトナム子供基金・タオダン支援」

郵便振替：00170-5-18054

銀行振込：富士銀行駒込支店 普通預金 1602525